

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称 施策I-4-1  
経営革新及び経営基盤の強化への支援

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 建設産業対策室長 坂本 昌司 電話番号 0852-22-5320

事務事業の名称	建設産業経営基盤強化支援事業	
目的	(1) 対象	中山間地域等に本店を置く建設業者等
	(2) 意図	建設業者等の経営基盤強化及び中山間地域等の経済活性化を図り、地域雇用を創出する。
事業概要	建設業及び土木建築サービス業以外の異分野へ進出する建設業者等が、進出を検討するための調査・研究事業等を助成し、また進出にあたっての設備投資に係る補助を行う。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	建設産業の異分野進出による雇用創出数	目標値	(20.0)	20.0	40.0	60.0	80.0	人
	式・定義	異分野進出事業に従事する新規雇用者数(中山間地域等)	取組目標値						
			実績値	(5.0)					%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						%
			達成率	25.0	-	-	-	-	
			達成率	-	-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	111,957	69,649
うち一般財源(千円)	111,957	69,649

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成18年度より建設事業者等の新分野進出支援を開始し、昨年度(平成27年度)までの実績は、新分野進出支援事業数78件、雇用増加452名となっており、一定の成果をあげることができたと判断している。  
今年度からは、行政資源をより集中投下し、中山間地域等の建設事業者等を支援し、地域における雇用創出に特化した取組を行うこととする。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

中山間地域等を支援対象とした取組へ変更。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」  
中山間地域等の建設事業者等から、どのくらいの支援需要が発生するか不透明。

②困っている状況が発生している「原因」  
これまでは、主として松江・出雲地域の建設業者等を支援する機会が多かったが、今年度からは支援対象を中山間地等に本店を有する建設事業者等に限定することにしたため。

③原因を解消するための「課題」  
建設業者等の異分野進出需要の把握及び潜在需要の発掘。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

建設産業団体や商工団体等を通じて一層の制度周知に努め、新分野進出コーディネーター2名による巡回活動や分野別交流プラザ、建設産業団体からの情報収集等により異分野進出需要の把握及び潜在需要の発掘に努める。

## 9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。